

コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)

【愛称：泰平航路】

追加型投信／海外／債券 日経新聞掲載名：泰平航有

第33作成期 2025年5月8日から2025年11月5日まで

第193期 決算日 2025年6月5日 第194期 決算日 2025年7月7日

第195期 決算日 2025年8月5日 第196期 決算日 2025年9月5日

第197期 決算日 2025年10月6日 第198期 決算日 2025年11月5日



為替ヘッジ型／
毎月決算型

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建投資適格社債等に投資することにより、信託財産の成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当作成期の状況

| | |
|-------------|----------|
| 基準価額(作成期末) | 6,133円 |
| 純資産総額(作成期末) | 5,212百万円 |
| 騰落率(当作成期) | +2.4% |
| 分配金合計(当作成期) | 60円 |

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

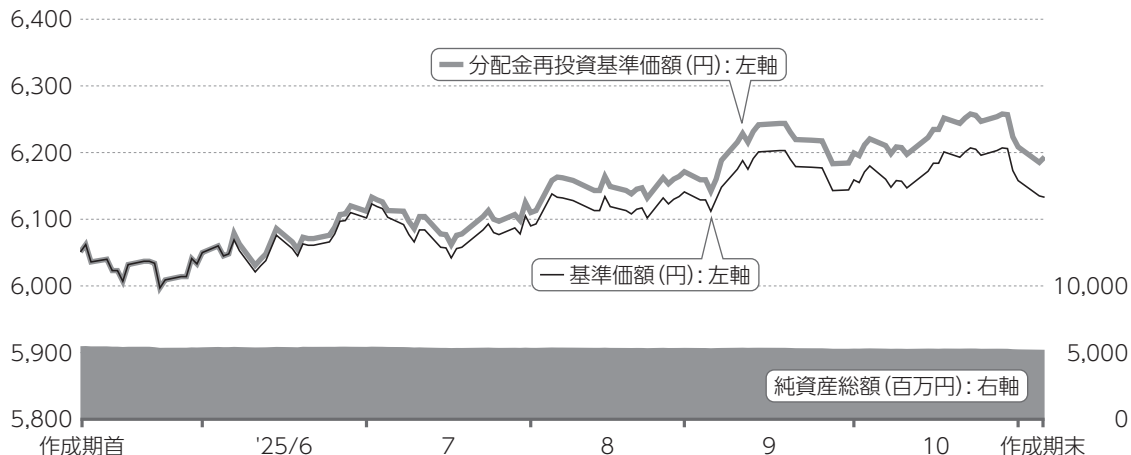
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年5月8日から2025年11月5日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|-----------------------------|--------|
| 作成期首 | 6,051円 |
| 作成期末 (当作成期既払分配金60円(税引前)) | 6,133円 |
| 騰落率 (分配金再投資ベース) | +2.4% |

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年5月8日から2025年11月5日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建て投資適格社債等に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

上昇要因

- 社債の金利収入
- F R B (米連邦準備制度理事会) の利下げ期待が高まったことや、関税交渉の進展による市場センチメント(心理)の改善などを背景に、社債利回りが低下(価格は上昇)したこと

下落要因

- 為替のヘッジコスト

1万口当たりの費用明細(2025年5月8日から2025年11月5日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|-------------|------|---------|--|
| (a) 信託報酬 | 33円 | 0.541% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は6,112円です。 |
| (投信会社) | (15) | (0.241) | 投信会社:ファンド運用の指図等の対価 |
| (販売会社) | (17) | (0.274) | 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (2) | (0.027) | 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 0 | 0.000 | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (-) | (-) | 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (先物・オプション) | (0) | (0.000) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (c) 有価証券取引税 | - | - | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (-) | (-) | 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (公社債) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (d) その他費用 | 1 | 0.009 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (0) | (0.007) | 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | その他:信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合計 | 34 | 0.551 | |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

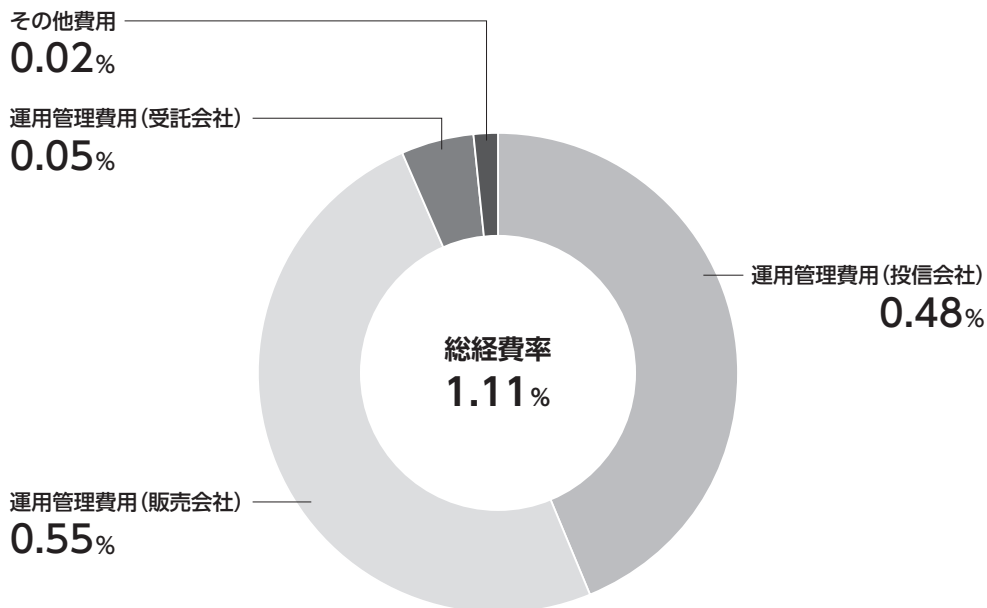
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

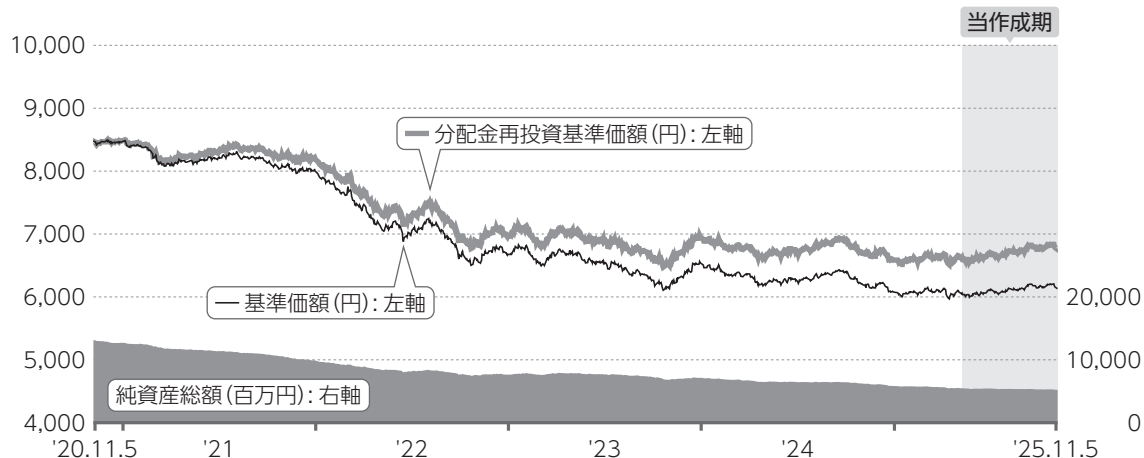
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.11%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年11月5日から2025年11月5日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2020年11月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | | 2020.11.5 決算日 | 2021.11.5 決算日 | 2022.11.7 決算日 | 2023.11.6 決算日 | 2024.11.5 決算日 | 2025.11.5 決算日 |
|---------------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 | (円) | 8,465 | 8,082 | 6,544 | 6,251 | 6,180 | 6,133 |
| 期間分配金合計(税引前) | (円) | — | 180 | 145 | 120 | 120 | 120 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | (%) | — | -2.4 | -17.4 | -2.7 | 0.8 | 1.2 |
| 純資産総額 | (百万円) | 13,100 | 10,405 | 7,516 | 6,941 | 6,190 | 5,212 |

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2025年5月8日から2025年11月5日まで)

米国10年国債利回りは低下、社債スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は縮小したことで、社債利回りは低下しました。

米国債利回りは、米中の関税引き下げ合意や米国の経済指標の改善を背景に、5月には上昇しました。しかし、6月以降は、米国の雇用創出が減速し、FRBの利下げ期待が高まったことなどから、低下基調で推移しました。

社債スプレッドは、関税交渉の進展による市場センチメント(心理)の改善や堅調な企業業績にサポートされ、縮小しながら安定的に推移しました。その結果、社債利回りは低下しました。

ポートフォリオについて(2025年5月8日から2025年11月5日まで)

当ファンド

期を通じて「コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド」を高位に組み入れました。なお、実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いました。

コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド

●債券組入比率

高水準の米ドル建て社債の組み入れを維持して、安定的に利息収入を得ることができました。

●業種別配分

業種別には、安定業種(消費・公益・通信)への配分を一貫して50%以上に維持しました。

●格付け別配分

格付け別には、全体の平均格付けはA格を維持しました。BBB格の債券は、20%未満に抑制しています。

●デュレーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)
デュレーションは6年程度としました。

ベンチマークとの差異について(2025年5月8日から2025年11月5日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2025年5月8日から2025年11月5日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第193期 | 第194期 | 第195期 | 第196期 | 第197期 | 第198期 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 当期分配金 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| (対基準価額比率) | (0.16%) | (0.16%) | (0.16%) | (0.16%) | (0.16%) | (0.16%) |
| 当期の収益 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 当期の収益以外 | - | - | - | - | - | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 267 | 276 | 286 | 294 | 302 | 309 |

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金(税引前)」の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。また、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。

コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド

米国では、FRBは年内あと1回の利下げを行うと想定します。米景気の腰折れは回避されてインフレ懸念が根強く残るとみ

られることから、長期金利は短期的には横ばい、中期的には上昇の展開を予想します。

米国社債市場は、米国の関税政策などにより当面神経質な展開が続くことが予想されます。しかし、景気が大崩れせず企業が比較的健全な財務を維持することを想定し、社債スプレッドは総じて安定的に推移すると予想しています。

以上の投資環境見通しをベースに、社債発行企業の信用力評価や個別証券の投資価値に着目して、銘柄選択を行っていきます。ポートフォリオ全体の業種配分は安定業種を多めとし、格付け配分についてはA格以上を中心とします。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

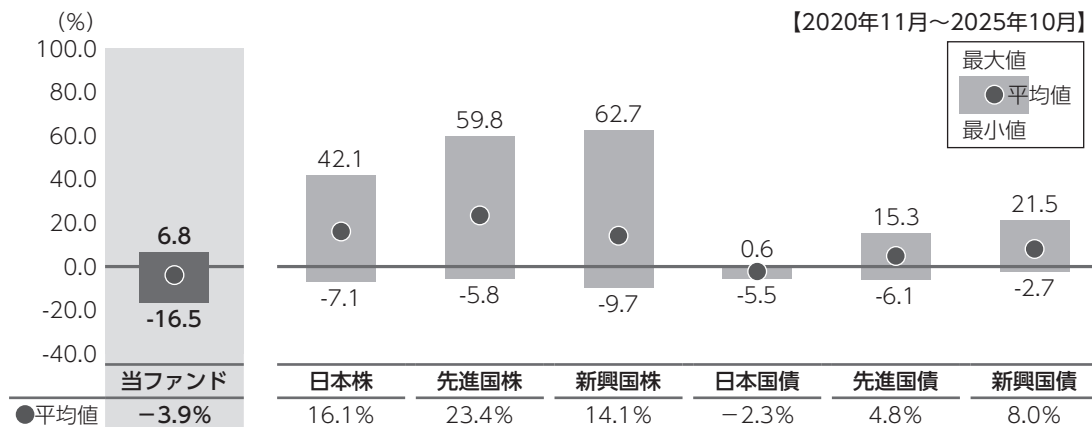
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

| | |
|--------------------|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信 託 期 間 | 2009年5月29日から2029年5月7日まで |
| 運 用 方 針 | マザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建投資適格社債等に投資することにより、信託財産の成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。 |
| 主 要 投 資 対 象 | 当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド 米ドル建投資適格社債等 |
| 当 ファ ン ド の 運 用 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ■高格付社債(米ドル建て、投資適格社債)へ投資します。 ■投資対象とする債券の格付けは、A格相当以上を中心とし、業種配分等にも配慮します。 ■対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクを低減します。 |
| 組 入 制 限 | <p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <p>コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分 配 方 針 | <ul style="list-style-type: none"> ■毎月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> |

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

| | |
|-------------|--|
| 日本株 | TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。 |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。 |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。 |
| 新興国債 | JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。 |

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

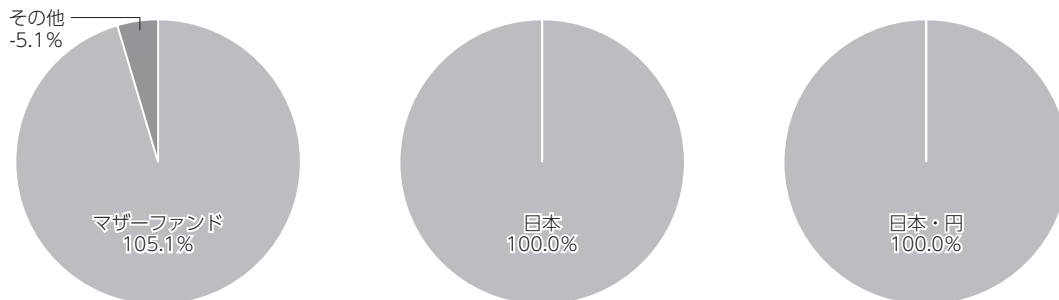
当ファンドの組入資産の内容(2025年11月5日)

組入れファンド等

| 銘柄名 | 組入比率 |
|------------------------|--------|
| コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド | 105.1% |
| コールローン等、その他 | -5.1% |

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※実質外貨建資産に対して対円で為替ヘッジを行っています。

純資産等

| 項目 | | 第193期末 | 第194期末 | 第195期末 | 第196期末 | 第197期末 | 第198期末 |
|------------|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | 2025年6月5日 | 2025年7月7日 | 2025年8月5日 | 2025年9月5日 | 2025年10月6日 | 2025年11月5日 |
| 純資産総額 | (円) | 5,428,965,000 | 5,415,379,247 | 5,378,383,649 | 5,350,041,714 | 5,298,027,199 | 5,212,118,346 |
| 受益権総口数 | (口) | 8,946,136,949 | 8,888,608,631 | 8,769,615,128 | 8,702,122,008 | 8,600,709,789 | 8,498,382,221 |
| 1万口当たり基準価額 | (円) | 6,069 | 6,092 | 6,133 | 6,148 | 6,160 | 6,133 |

※当作成期における、追加設定元本額は126,183,183円、解約元本額は683,372,504円です。

組入上位ファンドの概要

コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド
(2025年5月8日から2025年11月5日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

| 項目 | 内訳 | 金額 | 内訳 |
|---------|------------|----|-----|
| 売買委託手数料 | (先物・オプション) | 0 | (0) |
| その他費用 | (保管費用) | 2 | (2) |
| | (その他) | | (0) |
| 合計 | | 2 | |

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

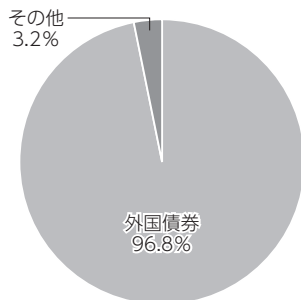
組入上位銘柄

(基準日：2025年11月5日)

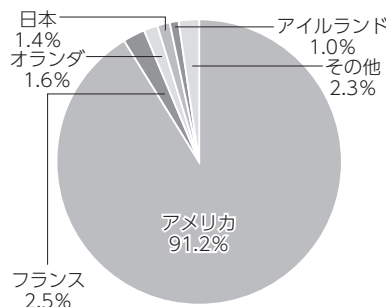
| | 銘柄名 | 組入比率 |
|----|---|-------|
| 1 | D.R. HORTON INC 5 10/15/34 | 1.6% |
| 2 | COMCAST CORP 5.3 06/01/34 | 1.4% |
| 3 | ENTERPRISE PRODUCTS OPER 5.2 01/15/36 | 1.3% |
| 4 | THERMO FISHER SCIENTIFIC 5.404 08/10/43 | 1.2% |
| 5 | AMPHENOL CORP 5.25 04/05/34 | 1.1% |
| 6 | TAPESTRY INC 5.5 03/11/35 | 1.1% |
| 7 | GILEAD SCIENCES 1.65 10/01/30 | 1.1% |
| 8 | UNILEVER CAPITAL 3.5 03/22/28 | 1.0% |
| 9 | KENVUE INC 5.1 03/22/43 | 1.0% |
| 10 | SIEMENS FINANCIERINGSMAT 1.7 03/11/28 | 1.0% |
| | 全銘柄数 | 226銘柄 |

※比率は、純資産総額に対する割合です。
※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

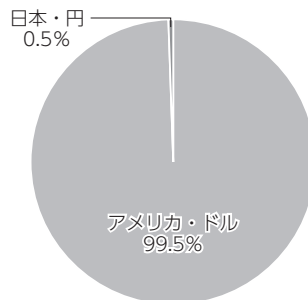
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
※基準日は2025年11月5日現在です。